

2025 年 8 月 6 日

皮膚科の外来診療あるいは入院診療を受けられた患者さんへ

「メラノーマ細胞の挙動におけるグリコカリックス、 ヘパラン硫酸の影響の解析」への協力をお願い

腫瘍病理・皮膚科では、下記のような診療を受けた患者さんの試料・情報を用いた研究を行います。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

研究の対象：2019 年 1 月 1 日～2025 年 5 月 31 日の間に、当科において、メラノーマ摘出術を受けられた方

研究期間：研究機関の長の研究実施許可日～2029 年 3 月 31 日

研究目的・利用方法：

本研究では、メラノーマにおけるグリコカリックス、ヘパラン硫酸および関連分子の発現と機能に着目し、メラノーマ細胞の浸潤・転移・接着に関わる分子機構の解明を目的とします。手術摘出組織における Ext1、Paxillin および関連因子の発現について免疫組織化学染色を用いて解析します。今回の目的に適合する一部の症例については、RNA シークエンス解析を用いて細胞ごとの発現レベルを解析します。またグリコカリックス、ヘパラン硫酸および関連分子の発現レベルと、原発部位、深達度、組織型、転移の有無、BRAF 遺伝子変異などの臨床病理学的因子との関連を解析します。

研究に用いる試料・情報の項目：

試料：手術で摘出したメラノーマの組織

情報：以下の項目について診療録から取得します。これらはすべて日常診療によって得られた項目です。

年齢、性別、腫瘍原発部位、原発巣（pT・Nstage）、手術検体の組織型、転移の有無、遺伝子変異の有無（BRAF）

研究に用いる試料・情報の利用を開始する予定日：2025 年 8 月 8 日

研究への参加辞退をご希望の場合

本研究に関して新たに患者さんに行っていただくことはありませんし、費用もかかりません。本研究の内容や研究結果等について質問等がありましたら以下の連絡先まで問い合わせください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて了承いただけない場合には研究対象としませんので、以下の連絡先まで申し出ください。なお、本研究は、岐阜大学大学院医学系研究科医学研究等倫理審査委員会において審査、承認され、研究科長・病院長の許可を得ております。また、この研究への参加をお断りになった場合にも、将来にわたって当科における診療・治療において不利益を被ることはありませんので、ご安心ください。

研究から生じる知的財産権の帰属と利益相反

研究者及び岐阜大学に帰属し、研究対象者には生じません。研究の結果の解釈および結果の解釈に影響を及ぼすような「起こりえる利益相反」は存在しません。

研究責任者

岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍制御学講座 腫瘍病理学分野

氏名：原 明

連絡先

岐阜大学大学院医学系研究科腫瘍制御学講座 腫瘍病理学分野

電話番号：058-230-6225

氏名：丹羽 亜弓

【苦情窓口】

岐阜大学医学系研究科・医学部 研究支援係

〒501-1194

岐阜県岐阜市柳戸 1 番 1

Tel：058-230-6059

E-mail：rinri@t.gifu-u.ac.jp